

平成 22 年 11 月 17 日

各 位

会社名 若井産業株式会社

代表者 代表取締役社長 若 井 猛 正

問合せ先 取締役品質保証部長 鶴 飼 和 廣

経営管理本部 本部長 榊 原 正

ニチハ株式会社納入のパミール釘に関するお詫びとお知らせ

この度は、ニチハ株式会社様にお納めしておりました『パミール釘 JQ20』の件で、関係各位には大変ご迷惑をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

先般、ニチハ株式会社様より、平成9年5月頃より、平成19年7月までに、お納めしておりました『パミール釘 JQ20』に、一部錆腐食が通常よりも早い時期に発生し、釘の頭が外れ、屋根材がズレる、落下するという可能性があるとの指摘を受け、大変驚いております。その原因について鋭意究明を急いでいるところでございますが、今後はこの様なことが無きよう、商品の安全・品質管理に一層の努力を重ねてまいります。何卒ご理解賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

1、『釘の腐食』の原因は様々な要因があり、色々な原因が考えられますので、弊社と致しましては、今回の事例の本質的な原因究明の調査を公的な検査試験機関に依頼して行っているところで御座います。

2、今回のパミール釘は、下地が『鉄』であり、メッキで防錆処理をした上にラスパート処理という、塗装皮膜を更に行った物であり、釘の形状やサイズは、ニチハ株式会社様の設計によるものであり、この表面処理のラスパートはライセンスが有りますので、当時、弊社では生産が出来なかったものですから、ラスパートのライセンスの使える工場様(以下「対象特定 OEM 工場」と称す)から OEM 生産を受けてきたものです。

従いまして、その、釘メーカーや表面処理のライセンサーなどの技術者と協力しながら、多角的な角度での試験や原因追究の検討を公的機関に委託するなどして、鋭意行っている処でございます。

3、今回の問題の対象となっている製品は、対象特定 OEM 工場が製造した『パミール釘 JQ20』に限定されており、納入先もニチハ株式会社様に限定されております。この製品は、その他の経路では一切市場に出ておりません。弊社のその他の『ラスパート』関係製品は対象特定 OEM 工場様での生産品で御座いませんし、何等の問題もクレームも発生しておりません。

従いまして、他の弊社取扱い製品、製造製品は今回のクレームの対象外であり、問題は御座いませんので、ご安心下さい。

4、「異常を発見された場合に、若井産業が直接検査対応ができるか」につきましては、屋根材が本体であり、『屋根材のパミール』がどのような経路で、どのようなビルダー様に販売され、使用されたか、施工されたかなどの、情報や内容は、弊社・若井産業株式会社では全く判りかねますので、弊社がお引受けする訳には、行かない状況でございます。

恐れ入りますが、ニチハ株式会社様にお問合せ戴く事が適当ではないかと考えております。

ニチハ株式会社様の情報開示されている内容の中に、お問合せ先窓口などはお知らせされている、と伺っております。

- 5、もし万が一、ニチハ株式会社様のパミール屋根材を使用され、今回のパミール釘 JQ20 を使用されたの現場で、屋根のズレ、落下などの異常が発見されました場合には、一応ニチハ株式会社様が窓口にはなりますが、その際には、弊社も製造元・納入業者と致しまして、誠意を持って対応させて頂く準備は致しておりますので、その点をご承知おきください。

弊社お問合せ先窓口：若井産業株式会社 品質保証部

電話：06-6783-2081（代表）